

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 五月

坂下歌舞伎保存会 (中津川市)

明治二十年代、坂下村(現在の中津川市坂下)では、奉納芸としての地歌舞伎が益々盛んになり、村内の四つの地区それぞれが、神社の境内に芝居小屋を建てました。

昭和四十一年、当時の坂下町長を中心に、新しい時代の歌舞伎伝承のあり方と舞台の保存が検討され、会員制の「坂下歌舞伎保存会」が発足しました。同時に、映画館となっていた「萬歳座」を保存会に譲渡し、保存会が管理を行うこととなりました。しかし、旗揚げ公演から間もない同年四月、大火によって萬歳座を焼失してしまいました。

当保存会では、会員の熱意と地元の支援によって萬歳座焼失の悲劇を乗り越え、坂下神社直会殿を舞台に公演を再開しました。その後は現在の坂下公民館へと舞台を移し、毎年公演を続けています。

また、昭和五十七年からは子ども歌舞伎にも取り組み、かつて参加していた当地出身の歌舞伎役者「市川笑三郎丈」による大人顔負けの名演技は、今も語り草となっています。



飯地五毛座歌舞伎保存会 (恵那市)

恵那市飯地町には六つの集落があり、各集落では、江戸時代後半から神社の拝殿を舞台にした奉納芝居が行われてきました。昭和二十六年に、まちの中心部に舞台と両花道を備えた芝居のできる公民館が建設され、地歌舞伎の上演や保育園などに活用されました。昭和五十九年に、別の場所に新たに公民館が建設されると、旧公民館は「五毛座」と命名され、以来、地歌舞伎専用の芝居小屋として親しまれてきました。平成二十二年には国の登録有形文化財に登録されました。

当保存会は昭和二十七年に結成された「歌舞伎同好会」が前身です。昭和三十年頃には「飯地歌舞伎保存会」、平成十六年には現在の「飯地五毛座歌舞伎保存会」と改名し、地域の春祭りの余興として地歌舞伎を上演しています。また、平成九年からは飯地小学校の児童による「子ども歌舞伎」を立ち上げ、敬老会の余興として公演を行うとともに、担い手づくりにも取り組んでいます。今後も地域の伝統芸能の保存・伝承に努めてまいります。



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 五月

2021年5月30日(日)

◆ 開演 14時00分

◆ 会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

◆ 上演外題・出演

14時00分 (60分)

壇浦鑑軍記 重忠館

坂下歌舞伎保存会 (中津川市)

15時20分 (80分)

箱根靈騷仇討 滝の場

飯地五毛座歌舞伎保存会 (恵那市)

◆ 終演 16時40分(予定) 演目・上演順は変更となる場合があります。



解説

演目の見どころやあらすじについて、
分かりやすく解説します。

歌舞伎ソムリエ おくだ 健太郎氏



主催／岐阜県・(公財) 岐阜県教育文化財団
協力／岐阜県地歌舞伎保存振興協議会
令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
ねんりんピック岐阜2021応援事業

TOKYO 2020
応援プログラム



beyond
2020

日本橋
JAPAN CULTURAL EXPO

文化庁

壇浦綴軍記

重忠館

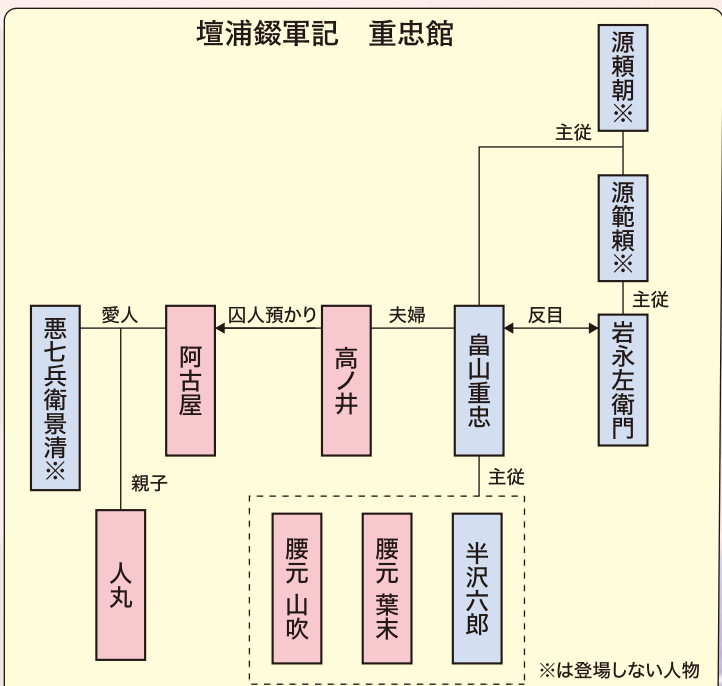
坂下歌舞伎保存会（中津川市）

平家が壇ノ浦に滅び、鎌倉幕府による残党詮議が厳しく行われる中、平家の重宝・青山の琵琶などと共に行方知れずとなった平家の侍大将悪七兵衛景清の居場所を突き止めるため、幕府は愛人の遊女阿古屋を捕えます。しかし、阿古屋は居場所を白状せず、源氏の重臣である秩父庄司畠山重忠の館で囚人預りの身となります。

重忠は阿古屋を丁重に扱って心を開こうとするも、知らぬ存ぜぬと言うばかり。そこで重忠は、赤子の頃に生き別れた景清と阿古屋の娘人丸を会わせて情に訴えようと、家来半沢六郎に人丸探しを命じますが、訪ねたときには何者かにさらわれてしまった後でした。

囚人預りの期日を迎えた夜、源範頼の命を受けた岩永左衛門が乗り込んできます。詮議が甘いと責める岩永に、重忠は今夜中に白状せると約して阿古屋を呼び出します。重忠は阿古屋の情をほぐそうと試みますがままならず、業を

煮やした岩永が若い娘を引きずり出すと、その娘こそ人丸でした。岩永は重忠と阿古屋の前で人丸を拷問し、景清の居場所を白状するよう責めます。この状況に堪えかねた阿古屋は自らの手で人丸にとどめを刺し、自身も岩永に打たれるところを重忠の機転によって助けられます。重忠は、この場を去って人丸の供養をせよと阿古屋に伝え、幕となります。



箱根靈驗壁仇討

滝の場

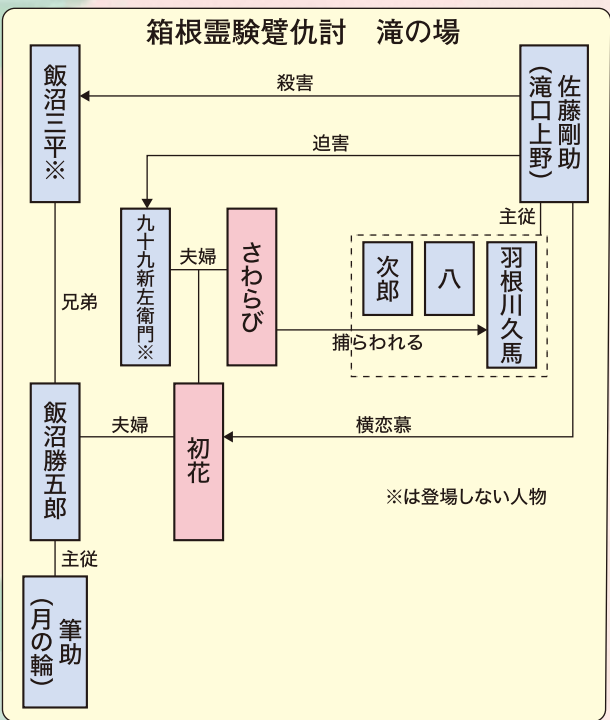
飯地五毛座歌舞伎保存会（恵那市）

伏見桃山築城奉行の配下である佐藤剛助は、同僚の飯沼三平を殺して宝刀を奪い、北条氏直に身を寄せて滝口上野と変名しています。

三平の弟飯沼勝五郎は、筆助（月の輪）とともに北条の家臣九十九新左衛門の屋敷に奉公するうち、その娘初花と相思の仲になり夫婦となります。しかし、上野の迫害によって父新左衛門は切腹、初花の母さわらびは捕らえられ、夫婦は流浪の身となった上に、勝五郎は病で足が不自由になってしまいます。

初花は足が不自由な夫を綱手車にのせ、箱根まで来ます。上野の手がかりを掴むために立ち寄った阿弥陀寺で、仇の上野に出会いますが、これは上野の策略なのでした。勝五郎は兄の仇、父の仇とつめ寄るも足が立たず、また初花の母さわらびを人質にとられており、初花は泣く泣く上野の意のまま小田原の菊館へと連れていかれてしまいます。

その後、初花は父の仇を討とうとするも上野の返り討ちに遭ってしまいます。しかし、亡霊



協力		振付指導	
太夫	松本 団女	下座	松本 奈津美
三味線	竹本 美芳	顔師	松本 宙士
〃	竹本 美善	〃	松本 茂み
〃	豊澤 順八	〃	松本 匠平
〃	松本 知也	床山	松本 真由美
		衣裳	松本 衣裳

解説 おくだ健太郎氏

名古屋市出身。早稲田大学政経学部卒業後、大歌舞伎のイヤホンガイ下解説者としてデビュー。その後二十五年あまり、歌舞伎座や御園座などで解説員を歴任。また、歌舞伎ソムリエの呼称で、執筆や講演、YouTubeの発信など、幅広く活躍している。



◆ 配役		
たきぐちこうすけ	肥田 敏雄	ひだ としお
滝口上野	瀧口 高裕	こうけつ たかひろ
飯沼勝五郎	飯沼 将昭	いとう まさあき
初花	伊東 将昭	かみ しゅういち
筆助（月の輪）	各務 昭一	こうけつ ちえみ
さわらび	瀧口 千恵美	こうけつ のりひろ
はねがわきゆうま	瀧口 紀博	ほの のぶはる
羽根川久馬	保母 伸治	おの まさこ
次郎	小野 優人	やまぐち まさかず
八	山口 鉦一	山口 鉦一
男	伊東 和憲	伊東 和憲
後見	瀧口 清一	瀧口 清一

※作中に今日の人権感覚に照らして差別的ととられかねない語句の使用がありますが、江戸時代から伝わる地歌舞伎ならではの表現を尊重し、原作のままとしています。